

# 指扇小だより

学校教育目標 **やり抜く子の育成**

かしこく やさしく たくましく あたたかく

6月号 令和4年5月31日 第3号

さいたま市立指扇小学校

〒331-0078

さいたま市西区西大宮1丁目49-6

電話 048-623-0133 FAX048-624-2200

【児童数】男子 433名 女子 442名 計 875名

## 心のパレット ～いじめ撲滅強化月間の取組に際して～

校長 引間 陽子

先日、本校の令和4年度運動会が開催されました。天気が心配されましたが、晴れ渡る空の下、予定通りの日程で実施が叶いました。新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、学年毎の実施や制限のある中の駆使した内容を披露しました。子どもたちの頑張る姿を見ていただきたいという思いで練習を重ねてきましたが、披露したプログラムでは子どもたち一人ひとりが生き生きと演技したり一生懸命競技したりする姿に、練習の成果が表れていました。御協力ありがとうございました。

さて、6月というと、梅雨の季節になってきます。雨の多い時季になりますので、子どもたちの過ごし方も一段と工夫が必要になります。落ち着いた生活で安全に過ごすことを心がけるようにと思います。兎角、雨の時季は行動制限がかかりがちになりますが、こんな時季、敢えて、雨を味わうのも乙なものと感じます。雨の降る日、静かな図書館で本をじっくり読むのもいいものです。雨音を聞きながら、本の魅力に触れていく…心が落ち着く瞬間です。ふと見つけた雨を題材にした本の中に、雨の付く言葉が多いことに驚きました。紅雨(こうう)、甘雨(かんう)、穀雨(こくう)、催花雨(さいかう)、半夏雨(はんげあめ)等、四季のある日本の気候の中、雨に纏わる言葉が沢山誕生したのでしょうか。雨に気をつけながら、雨を味わえるように過ごせたら素敵だなと思いました。

また、6月3日は本校の開校記念日で149周年を迎えます。中校舎の1階の廊下のワンコーナーには、アルバムや綴りが飾られています。ほんのちょっぴり立ち止まり、ページをめくると、指扇小学校の足跡を見ることができ、歴史と伝統を感じることができます。「木造校舎よ さようなら 思い出特集」～中略～ 窓には木製の戸車、レールは竹製品が使用されているのを見ても…がっちりした縁取りの黒板がはめこまれた教室、一段高い教壇、磨きこまれた床等、伝統と数多くの思い出を生み続けてきた校舎に地域の人たちの熱意と期待を読み取ることができる。～このような文章を見つけ、ずっしりと重みを感じました。

最後になりますが、6月は『いじめ撲滅強化月間』です。本校のホームページに「令和4年度さいたま市立指扇小学校いじめ防止基本方針」を掲載し、広く周知しています。いじめの発生する構造は、自他を認めないところから始まります。そして、互いの「無関心」によって増長するとも言えます。個性という視点では、一人ひとりがそれぞれ違う十人十色です。そのため、他人の心を読むのは大変難しいものです。意外と自分の心もわからないこともあります。パレットに絵の具を出して、色づくりをした時のことと重ねてみました。今日はきれいな色を作って絵を描こうとパレット上で多色を混ぜたら、予想と違った暗めの色になってしまった。

なかなか思うような色にならない。心も似ているような気がします。一人ひとり子どもたちは魅力的な個性なのに、場面や複数(集団)によっては予想とは違ったことが起き、ぶつかったり相手を傷つけてしまったり…。時には、心のアクセルとブレーキを踏み間違えて、間違った方向に加速してしまうこともあります。事後で冷静に考えると解決できることも、後のまつりということです。心のパレットの色の調整はなかなか難しいと感じます。学校では特別の教科道徳をはじめ、教育課程全般で、相手の心や自分の心の在り方の学びを積み重ねて、自他ともに大切に「心が温かくなる言葉や行動」ができる子どもたちの育成に努めます。

